

第41回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム

ー微生物関連試験法、微生物管理等の最新情報を踏まえてー

[趣旨]微生物関連分野を取り巻く社会情勢の変化は国内外を問わず著しい。第十九改正日本薬局方は、令和8年4月頃に告示が予定されている。本シンポジウムは常に時代背景を踏まえた内容での開催を目指しており、微生物関連の各種試験法や微生物管理、また法規制に関する最新情報などが各講師から提供される予定である。多くの関係各位のご参加ならびに意見・情報交換を期待している。

企画：菊池 裕（千葉県立保健医療大学）、大屋 賢司（国立医薬品食品衛生研究所）

運営：内田 和之（バイオメリュー・ジャパン（株））、梶浦 工（吉田製薬（株））

菊野 理津子（日本防菌防黴学会会長（一財）北里環境科学センター）、竹下 朱美（TOTO（株））

主催：日本防菌防黴学会

場所：きゅりあん・小ホール（東京都品川区東大井5丁目18-1）

日程：令和8年3月6日（金）9：40～16：45

[参加費] 会員1人 11,000円・非会員1人 13,000円

開講の辞 ー本シンポジウムの果たす役割ー（9：40～9：45）

日本防菌防黴学会会長 菊野 理津子

座長：菊池 裕（千葉県立保健医療大学）

1. 第十九改正日本薬局方に関する話題（仮）（9：45～10：30）

（独）医薬品医療機器総合機構 三ツ木 元章

2. 紅麹を含む食品による健康被害の原因と対策について（仮）（10：30～11：15）

国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部 吉成 知也

座長：竹下 朱美（TOTO（株））

3. 手指衛生と環境衛生における消毒薬の適正使用（11：15～12：00）

吉田製薬（株） 梶浦 工

昼食（12：00～13：00）

4. 医療環境・水回りにおけるバイオフィルムの形成と制御（13：00～14：30）

コーディネーター 大屋 賢司（国立医薬品食品衛生研究所）

4-1 気管挿管チューブ等の医療機器におけるバイオフィルム（仮）

明治薬科大学 鴨志田 剛

4-2 医療排水配管中のバイオフィルムについて（仮）

国立健康危機管理研究機構 鈴木 仁人

4-3 水回り環境におけるバイオフィルムについて（仮）

TOTO（株） 西野 駿佑

4-4 総合討論

休憩（14：30～14：40）

5. 日本薬局方参考情報収載を見据えた *in vitro* 発熱性物質試験としての単球活性化試験法 (14:40~16:10)
コーディネーター 林 克彦(国立医薬品食品衛生研究所)

5-1 MAT 関連演題(仮)

メルク(株) 木村 晃一

5-2 MAT 関連演題(仮)

富士フイルム和光純薬(株) 七尾 友久

5-3 MylcMAT について(仮)

マイキャン・テクノロジーズ(株) 平野 大祐

5-4 総合討論

座長:内田 和之(バイオメリュー・ジャパン(株))

6. 医薬品受託分析サービスと新施設(医薬分析棟)の紹介(16:10~16:40)

(一財)日本食品分析センター 山崎 健一

閉会の辞 —シンポジウムを統括して(16:40~16:45)

千葉県立保健医療大学 菊池 裕

演題・演者につきましては変更する場合がございます。ご了承ください。

申し込み方法

件名を「第 41 回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム参加申込」とし

① 氏名

② ご所属、住所、メールアドレス、電話番号

③ 種別 (本学会員(正、賛助、維持、学生)か、非会員)

以上 3 項目を記載し E mail (boukin@nifty.com) までお送りください。

後日、受付終了の返信メールを送ります。1 週間以内に返信メールが届かない場合は再送信ください。

参加費は、原則会場でお支払い下さい。